

茶室建設の経緯

この茶室は日本の伝統文化を多くの方々に親しんでもらいたいと願うある市民の発意に賛同した地域住民による寄附団体「都筑民家園に茶室を贈る有志の会」が市民の浄財により建設、横浜開港150周年を記念して、横浜市に寄贈。また、露地等の外部工事は「贈る有志の会」と民家園関係者、地域住民で結成した「茶室まち普請・活用推進委員会」との協働の活動に、横浜市より平成21年度「ヨコハマ市民まち普請事業」の助成を受け整備しました。

建築にあたっては、場所や規模について民家園関係者や地域住民が長時間議論を重ね決定しました。日本の伝統文化活動にふさわしい「本格的な茶室」を実現するために、古民家が持つ雰囲気と茶室が見せる数寄屋的なたたずまいを融合させ「用の美」を具現化、品性良く、力強く、見て美しい、基本をおさえてなお創意工夫がある、これをコンセプトにしています。建築は鎌倉の松本高広棟梁に引き受けて頂き、露地・石組み工事は麻布植祐・上野周三氏にお願いし、平成22年3月に竣工しました。また、ふるさとに自然の景観を取り戻そうとする池づくりや、たたき・露地作りは近隣の市民や子ども達が協力してでき上がりました。

この茶室が広く活用され、日本の伝統文化を次世代へ伝承するとともに、関連して整備した露地や池を通じてふるさとを再興し、育て、継承する一助となるよう願っています。



「木の建築賞」選考委員特別賞の受賞

民家園に茶室を整備する活動は、「第7回木の建築賞」選考委員特別賞(主催 特定非営利活動法人木の建築フォーラム)を受賞しました。